

妻の心 (1956)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 98分
初公開日 1956/05/03

【解説】

井手俊郎のオリジナル脚本を成瀬巳喜男が監督した。

信二は旧家の次男で家業を継いでいた。そこへ突然、東京に出ていた長男の善一が家族を伴って帰郷する。信二と妻の喜代子は店の空き地に喫茶店を開こうと準備を進めていた。喜代子は親友の兄で銀行員の健吉と、開店資金の融資のことでしばしば会うようになる。まとまった金が入った丁度そのころ、善一が実母に商売を始めるから金を貸してほしいと言い出した。人のいい信二が金を渡すと、善一は間もなく姿を消してしまう。信二は芸者と温泉で外泊、喜代子は健吉と頻繁に会うようになっており、夫婦の間には深い溝ができていた。

【クレジット】

監督 成瀬巳喜男
製作 藤本真澄
金子正且
脚本 井手俊郎
撮影 玉井正夫
美術 中古智
編集 大井英史
音楽 斎藤一郎
出演 三好栄子 富田こう
千秋実 長男・善一
中北千枝子 妻・かほる
松山奈津子 娘・瑠美子
小林桂樹 次男・信二
高峰秀子 妻・喜代子
根岸明美 長女・澄子
田中春男 赤城屋の主人国夫
花井蘭子 妻・定子
杉葉子 竹村弓子
三船敏郎 Toshiro Mifune 兄・健吉
加東大介 「はるな」の主人
沢村貞子 妻・波子
北川町子 芸者福子
北野八代子 芸者すずめ
塩沢登代路 芸者小花
本間文子 喜代子の叔母たね

土屋嘉男
河美智子
桜井巨郎
堤康久
瀬良明
松尾文人
佐田豊

息子・庄太郎
娘・芳子
渡辺
安田
田村
佐山
建築技師